

事務事業名 幡屋財産区管理事業		所属部 大東総合センター	所属課 自治振興課
総合計画体系	政策名 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G 庶務グループ	課長名 中島 豊
	施策名 (34)林業の振興	担当者名 山崎敬子	電話番号 0854-43-8162 (内線) 4002
	目的 対 A)市内の森林所有者 B)市内の森林 意図 A-1)木材生産量を拡大する。A-2)森林資源を活用する。B)適正に保全する。	予算科目 会計 300501 款 050501 大事業 01 中事業 01	大事業名 幡屋財産区総務管理事業 中事業名 幡屋財産区総務管理事業
	基本事業名 (102)適切な保育管理 目的 対 市内の森林 意図 森林を適正に保全する。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
幡屋財産区の維持管理のための事業。(財産区の運営は、昭和30年代に伐採期を迎えた立木を売却した利益を基本として積立て、毎年事業に必要な額を取崩して運営費として)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		①財産区管理会の開催②財産区所有林の草刈等の作業③財産区事務・財産区所有林看守事務委託	平成24年度と同様			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 管理会開催回数	回	1	1	1	1
	イ 作業実施回数	回	2	5	2	2
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	財産区有林 財産区住民	ア 財産区有林面積	ha	139	139	139	139
		イ 幡屋地区の人口	人	1,709	1,691	1,650	1,650
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
財産区有林の林木を適正に育て、山林荒廃を防ぎ将来の売却益の確保を図る	ア 順調に育っていない割合	%	60.0	60.0	60.0	60.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
○報酬・作業員賃金・費用弁償 189,000円 ○交際費・消耗品費・食料費 41,200円 ○基金利子積立金 2,867円 ○森林整備事業負担金 27,300円 ○森林組合賦課金 25,500円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	409	554	286	717
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	409	554	286	717
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	12	12	12		
	人件費計(B)	千円	47	47	47		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	456	601	333		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
近年、木材の価格が低迷していることや、松くい虫による被害、管理委員の高齢化により山林経営は厳しくなっている。樹種変換事業、作業道の整備に取り組んでいる。	松くい虫防除事業の実施	樹種変換事業の実施

事務事業名	幡屋財産区管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	自治振興課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	林木の保育管理を行い林業の振興を目指す。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	財産区有林のため、他の事業との統廃合は出来ない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	財産区の運営資金は、財産区基金を取崩し最低限必要な予算で事業を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在は、市で財産区財政調整基金を管理しており削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	管理委員は、幡屋地区から推薦されており公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
財産区有林の維持管理は、管理委員、地元住民により維持管理されているが、今後も市と歩調を合わせよ一層森林保護、環境整備を図る必要がある。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																							
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																							
財産区管理会及び幡屋地区住民が維持管理をしているが、市としても林業振興の支援が必要。																										
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		●																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																										